

Green Wellness Osaka

■都市緑地法第4条に規定されている「市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」であり、都市のみどりに関する総合的な計画

■本計画の計画期間:2035(令和17)年まで(10年間)

■本計画の対象区域:大阪市全域(広域的なみどりの取組については、周辺都市とも連携を図る)



P.47

🏏 計画の主な構成



P.44~46

今後のみどりのまちづくりを 考える上での重要な視点

各要素に 反映

基本理念

【共通の観点】SDGsの達成への貢献・グリーンインフラの概念

- ■大震災や都市型洪水など都市防災への対応
- ■気候変動への対応や都市環境の改善
- ■多様な主体によるまちづくりと連携したまちの価値向上
- ■一人ひとりのいきいきとした都市生活の実現
- - ■都市における自然環境・生物多様性の保全 ■都市の個性や魅力・風格の向上

 - ■みどりの創出・保全と情報の発信・共有

基本方針



個別取組

ングプロジェクト



✓ 「一人ひとりが輝くみどりのまちづくり」 Green Wellness Osaka ✓



【方針①】都市を支える健全で快適な 「みどり」を"育む"

都市の中で求められる多様なみどりを確保しながら、 公園や道路をはじめとした都市内の樹木を丁寧に育成 するなど、都市を支える健全で快適なみどりを育む

みどりの持続的な 保全と機能向上

多様なみどりの創出

【方針②】まちの多様な「みどり」を

まちの価値向上が図られるよう、産・官・学・民がそ れぞれの目的やニーズに応じて、まちの多様なみどり を自由な発想で柔軟に活用する

柔軟なみどりの活用

エリアやみどりの特性を 踏まえたマネジメント

"活かす"

【方針③】人と人が「みどり」で "つながる"

一人ひとりの豊かな都市生活(住む、働く、訪れる) の実現に向け、みどりを"育む・活かす"取組をきっか けに、人々が集い交流し、みどりを中心としたコミュ ニティ醸成につなげていく

みどりを介した人と人との つながりの醸成

それぞれの個別取組を 一体的に推進

みどりに関する 情報・価値の共有と発信

- ■計画期間(10年間)のみどりの まちづくりを先導するプロジェクト
- ■みどりへの興味・関心を高める プロジェクトと、みどりの 満足度向上に向けた好循環を 生み出すプロジェクトとして、 それぞれ4事業(計8事業)設定



3 誰もが住み ŋ この基本理念を実現する 魅 る大都市 ためには

大

阪





① みどりへの興味・関心を高めるプロジェクト

多くの人に認識される 街路樹・公園樹の景観・ 快適性向上

多くの人が訪れる公園や道路などにおいて、 美しい樹形と豊かな緑陰を形成し、景観向 上や空間としての快適性向上を図る



豊かな緑陰形成の イメージ

(1) - B

開発に合わせた民有地 緑化の推進

民間開発に合わせて多様なみどりを取り 入れる取組を拡大・展開させ、質の高い 印象的なみどりの創出・育成を図る (新タコ Lル I 王島のは」)



民有地緑化の事例

【基本方針②】 "活かす"

【基本方針①】

"育む"

多様な主体によるみどり 空間の幅広い活用

多様な主体による幅広い活用の取組を、 より多くのみどり空間で根付かせること で、みどりに対する興味や愛着を高める



公園活用のイメージ (パークファン)

【基本方針③】 "つながる"

多様なツールを活用した (1) - Dみどりの情報共有・発信

ポータルサイトやSNSなど、多様な ツールを活用した情報の共有・発信に より、みどりを知る・触れる機会を創出



みどりのポータルサイト (みどりの都市・大阪ONLINE)

∖市域全体のベースアップを図って/

② みどりの満足度向上に向けた好循環を生み出すプロジェクト

(2) **– A**

市内全域における 街路樹・公園樹の 計画的な保全育成

市内全域の街路樹・公園樹を対象に、植 栽環境に応じた、計画的な維持管理を行 い、健全な樹木の保全育成を推進



計画的な維持管理の イメージ

 $\overline{\mathbf{2}} - \mathbf{B}$

利用者の意見を反映した 公園の魅力向上

利用者の意見を反映させた公園施設の導 入や、機能分担の視点を踏まえた調査 検討・試行により、公園利用を促進する



魅力ある公園施設のイメージ (複合遊具)

(2) – C

地域・エリアのステーク ホルダーによるみどり 空間の活用・運営

地域・エリアのステークホルダーが公園 などを活用・運営することで、地域の 課題解決やエリアの価値向上につなげる



地域主体のイベント事例 (草津川跡地公園)

出典:草津川跡地公園HP

(2) - D

みどりのまちづくりに 参画・支援する取組の 展開

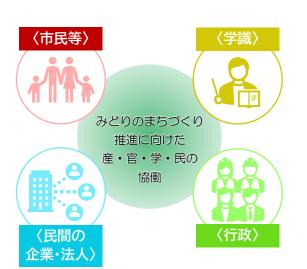
様々な活動を支援できる仕組みを構築し、 多様な主体による参画・支援の輪を拡大 させていく



公園活用プレーヤーと サポーターのマッチング (パーク・コネクト)



- ■計画の推進にあたっては、市民、民間の 企業・法人、学識、行政の多様な主体が それぞれの役割を担い、各々の強みを 活かしつつ、相互に連携・支援していきます。
- みどりのまちづくり指標を設定し、2030 (令和12) 年度末の中間評価や、 2035(令和17)年の計画改定に活用 します。



【みどりのまちづくり指標】

種類	内容	項目	基準値	目標値	関係する 基本方針		
					育む	活かす	つながる
成果指標	みどりのまちづくりの成果と してめざす指標	身近なみどりの 満足度	37.1%	50%	•	•	•
		みどりが増えたと 感じる人の割合	24.3%	33%	•	•	
		身近な公園の 利用頻度	38.0%	45%	•	•	•
達成指標	みどりのまちづくりの中で 行政がめざす量的目標値 となる指標	緑被率	10.7%	現状以上	•		
		都市公園の市民 一人あたり面積	3.5㎡/人	3.7㎡/人	•		
共有指標	みどりのまちづくりの進捗を 把握する尺度として、緑化 の意識啓発につなげるため の指標	緑視率	各地点で 測定	I	•		
		地域に身近な 都市公園の利用 状況	地区公園と 近隣公園で 測定	-	•	•	•
LP指標	リーディングプロジェクトで めざすアウトプットを示した 指標	取組ごとに設定(本編第5章参照)			•	•	•



■「住む人」に身近なみどりのシーン例(地域に身近な都市公園)



■働く人・訪れる人を惹きつけるみどりのシーン例(幹線道路と沿道の空間)